

メキシコ政治情勢（11月）

〔概要〕

【内政】

- 7日、サルディバル最高裁判事が辞任し、ロペス・オブラドール大統領が後任判事の候補3名を上院に提出した。
- 9日、ガルシア・ヌエボレオン州知事は、市民運動（MC）の大統領候補となる旨発表した。後任の暫定知事の選出をめぐる同州議会と対立。
- 11日、2024年度予算が成立。
- 11日、与党連合は、2024年州知事選挙における事実上の州知事候補を決定した。
- 13日、エブラル氏（前外相）は、与党連合の大統領選挙候補選出において不正があったとして離党を示唆していたが、国家再生運動（MORENA）に留まることを発表した。
- 19日、シェインバウム氏は大統領選挙予備候補となり、演説で目標（sueño）について言及した。
- 27日、与党連合選挙予備キャンペーン対応チームの発表
- 27日、当地エル・ユニベルサル紙は、2024年大統領選挙に向けた世論調査結果を発表した。

【外交】

- 3日、米国ワシントンD. C. を訪問中のバルセナ外相は、APEC首脳会合に出席した。
- 15～16日、ロペス・オブラドール大統領は、サンフランシスコで開催されたAPEC首脳会議に出席した。
- 22日、バルセナ外相はG20テレビ首脳会議へ出席した。

〔本文〕

【内政】

1 サルディバル最高裁判事が辞任

7日、サルディバル最高裁判事（当時）は、ロペス・オブラドール大統領に辞表を提出した。翌8日、「ロ」大統領は、同辞表を受理し上院に送付。15日、上院議会は「サ」判事の辞任に関する司法委員会の意見書を採決し受理した。同日、「ロ」大統領は、「サ」判事の後任として、以下3名を候補者として上院に提示。

- (1) ベルタ・マリア・アルカルデ・ルハン氏（Bertha Alcalde Lujan）
- (2) レニア・バトレス・グアダラマ氏（Lenia Batres Guadarrama）
- (3) マリア・エステラ・リオス・ゴンサレス氏（Maria Estela Rios Gonzalez）

29日、上院議会において、任命にかかる投票が実施されたが、必要な賛成票が得ら

れず（議席の3分の2）否決された。今後、二度目の候補者が上院に提示され、それが否決された場合、大統領の権限で判事が任命される。

2 ガルシア・ヌエボレオン州知事の大統領選挙立候補発表

9日、ガルシア・ヌエボレオン州知事が、MCの大統領予備候補となる旨発表した。州知事の休職が州議会に受理されたものの、後任の暫定州知事の選定を巡り州議会と対立した。

3 2024年度予算が成立

11日、下院は、2024年度歳出予算（一般・特別）を承認した。2024年度の総歳出額は、8兆2,990億ペソとなった。賛成270票、反対219票、棄権1票。その中で、独立行政法人の歳出74億3,700ペソを削減した。

4 与党連合、2024年州知事選挙の州知事候補を決定

11日、デルガドMORENA党首は、9つの州の変革擁護委員長（事実上の州知事候補）を発表した。「デ」党首は、9月26日に女性110人及び男性174人、その他の性1名が立候補登録され、最終候補に選ばれた女性25名及び男性29名について世論調査を実施、9社が28件の調査結果を発表し、常に透明性を公平性の実践に努めた結果、調査は成功を収め、17人の候補が選ばれたと述べた。「デ」党首は、17人の候補者のなかから、ジェンダー平等基準（全国選挙機関（INE）は、各政党は、2024年に州知事選挙が実施される9つの州のうち5州を女性にする基準を設けた。）を適用した結果、9州における州知事候補が以下のとおり選出されたと述べた。

- (1) メキシコ市：クララ・ブルガダ氏（前メキシコ市イスタパラバ区長）
- (2) チアパス州：エドゥアルド・ラミレス氏（上院議員）
- (3) グアナファト州：アルマ・アルカラス氏（グアナファト州議会議員）
- (4) ハリスコ州：クラウディア・デルガディージョ氏（下院議員）
- (5) モレロス州：マルガリータ・ゴンサレス・サラビア氏
- (6) プエブラ州：アレハンドロ・アルメンタ氏（上院議員）
- (7) タバスコ州：ハビエル・メイ氏（前国家観光振興基金（FONATUR）総裁）
- (8) ベラクルス州：ロシオ・ナレ氏（前エネルギー大臣）
- (9) ユカタン州：ホアキン・ディアス・メナ氏（前ユカタン州開発事業局長）

5 エブラル氏（前外相）のMORENA残留

13日、エブラル氏（前外相）は、MORENAに留まることを発表した。「エ」氏は8月～9月に実施された与党連合の大統領候補選出プロセスに不正があったとして抗議し、MORENAから十分な回答が得られなければ離党する旨示唆していた。今回、MO

RENAが一部不正を認めたことから、MORENAに残留した。

6 シェインバウム氏の目標 (sueño) の発表

19日、シェインバウム氏（前メキシコ市長）は、与党連合から信任を得て、正式にメキシコ大統領選挙予備候補となった。「シェ」予備候補は、演説において、ロペス・オブラドール大統領をメキシコ史上最高の大統領と評し、「ロ」大統領の政策を継続すると述べるとともに、メキシコが福祉国家になることが願望のひとつであり、道徳的経済及び緊縮財政のモデルは実行可能と述べた。また、政府はマクロ経済指標のためだけでなく、国民のために働かなければならないと強調した。「シェ」候補が演説の中で述べた目標 (sueño) は以下のとおり。

(1) 緊縮財政を維持：大統領経験者への年金の廃止は維持し、貧しい国民のいる金持ちの政府は存在しないという考え方を維持する。ガソリン価格及び光熱費の実質的な引上げは行わない。メキシコ銀行（中銀）の独立性の維持、脱税の防止、政治と経済の権力分立を維持。

(2) 社会事業の維持：公立学校の生徒に対する奨学金の普遍化を目指す。

(3) 最低賃金の引上げ、メキシコの労働者の権利を強化。

(4) 公共投資の促進、マヤ鉄道建設及び地峡開発の促進、戦略的投資の拡大、全国での旅客鉄道事業の継続。

(5) 初等教育から大学まで、公教育に特に重点を置く。

(6) 医療へのアクセスを権利とし、無料で質の高い医療にアクセスできるように、公的医療制度を継続。

(7) 尊厳ある住宅へのアクセスを強化。

(8) 先住民のための公正な対応を保証。

(9) 女性の本質的平等を促進し、LGBT+の権利を強化。

(10) メキシコの地理的優位性を生かし、投資を誘致し、地域の福祉のビジョンに基づく雇用及び適正賃金を創出。

(11) 科学技術の発展を促進。

(12) クリーンエネルギーへのエネルギー転換を加速。

(13) 気候変動と闘うため、天然資源保護政策を推進。

(14) 戦略的建設事業を通じて、水のアクセス権を保証。

(15) 食料主権及び脆弱な立場にある農民への農地支援。

(16) 全ての分野における統治、平和、及び安全の保障

(17) 司法改革のためにPLAN C（最高裁判事を国民直接投票により信任する憲法改正案。憲法改正には、下院500議席中334の賛成が必要。）を推進。

7 与党連合選挙予備キャンペーン対応チームの発表

27日、与党連合は、シェインバウム大統領選挙予備キャンペーン対応チームの構成を以下のとおり発表した。

- (1) 予備選挙キャンペーン責任者：「デ」 MORENA 党首
- (2) 政策責任者：ロペス前外相
- (3) 国内連絡責任者：モンリアル前上院政策調整委員長
- (4) 社会・市民運動組織連絡委員長：フェルナンデス労働党党首
- (5) 広報責任者：クルティエル前経済相
- (6) 国際機関及び在外メキシコ人連絡責任者：バルデス氏 (Jesus Valdes Pena、エブラル氏大統領選挙予備キャンペーン責任者、元駐ハイチ大使)
- (7) 与党連合同盟責任者：エルナンデス氏 (Citlalli Hernandez Mora)
- (8) 学術分野連絡責任者：トゥレン氏 (Renata Turrent Hegewisch)
- (9) 文化コミュニティ連絡責任者：オロスコ氏 (Regina Orozco Mora)
- (10) 遊説責任者：ダミアン氏 (Esthela Damian Peralta)

8 2024年大統領選挙に向けた世論調査結果：当地エル・ユニベルサル紙

27日、当地エル・ユニベルサル紙は、2024年大統領選挙に向けた世論調査結果を発表した。(11月17～22日に、全国の有権者1,000名に対し訪問で調査を実施。誤差±3.53%)

(1) 本日が大統領選挙投票日であった場合、どの政党及び候補者に投票するか。

- ア ガルベス上院議員 (野党連合)：24% (前回(9月、以下同じ)20%)
- イ シェインバウム氏 (前メキシコ市長、与党連合)：48% (前回50%)
- ウ ガルシア氏 (前ヌエボレオン州知事、MC)：8% (前回7%)
- エ 無回答：20% (前回19%)

(2) (各人の顔写真を見せつつ)以下の人物を知っていて、名前を言えるか。

ア シェインバウム氏

- (ア) 知っていて名前を言える：64%
- (イ) 知っているが名前は言えない：11%
- (ウ) 知らない又は無回答：25%

イ ガルベス上院議員：47%

- (ア) 知っていて名前を言える：37%
- (イ) 知っているが名前は言えない：11%
- (ウ) 知らない又は無回答：52%

ウ ガルシア氏

- (ア) 知っていて名前を言える：33%
- (イ) 知っているが名前は言えない：16%
- (ウ) 知らない又は無回答：51%

(3) 以下の人物について知っているか。

ア シェインバウム氏：71%（前回68%）

イ ガルベス上院議員：55%（前回47%）

ウ ガルシア氏：39%（前回36%）

(4) 以下の人物についての意見如何。(上記(3)で「知っている」と答えた人のみ回答。)

ア シェインバウム氏

(ア) 肯定的：50%

(イ) 否定的：11%

イ ガルベス上院議員

(ア) 肯定的：20%

(イ) 否定的：23%

ウ ガルシア氏

(ア) 肯定的：20%

(イ) 否定的：9%

【外交】

1 バルセナ外相のA P E P首脳会合への出席

1～3日、バルセナ外相は、米国ワシントンDCを訪問し、3日にホワイトハウスで開催された第1回経済繁栄のための米州パートナーシップ（A P E P）首脳会合への墨大統領の名代として出席した。同サミットでは、A P E Pの下での協働及び（2022年6月の米州サミットで署名された）移住と保護に関するロサンゼルス宣言の経済的安定の柱を通じ、より一層の経済的安定と繁栄を促進するための複合的な取り組みが取り上げられた。そのために、バルバドス、カナダ、チリ、コロンビア、コスタリカ、ドミニカ共和国、エクアドル、メキシコ、パナマ、ペルー、米国、ドミニカ共和国及びウルグアイのリーダー達は以下の5つの優先事項を設定した。

- ・米州地域の競争力及び統合の強化
- ・共有された繁栄とグッドガバナンスの強化
- ・持続可能なインフラの構築
- ・気候と環境の保護
- ・健全な地域社会の育成

2 ロペス・オブラドール大統領のA P E C首脳会議への出席

15～16日、ロペス・オブラドール大統領は、サンフランシスコで開催されたA P E C首脳会議に出席した。同会議では、中国、カナダ、米国と首脳会談を行った。

(1) 墨中首脳会議（大統領府プレスリリース）

16日、「ロ」大統領は、APEC首脳会議において、習中国国家主席と会談し、二国間の優先課題を確認した。両者が対面で会談するのは今回が初めて。両者は、政治、経済、教育、文化、及び協力の各分野における近年の二国間関係の進展を歓迎し、2023年2月に50年を超えた両国の絆を再活性する意思を確認した。また、「ロ」大統領は、コロナ禍における連帯・支援とハリケーン・オーティス被害への支援に関し、中国政府及び社会に謝意を表した。両者は、一刻も早くオーティスの被災者を救済するため、両国の協力を強化することを最優先することで合意した。「ロ」大統領は、両国が共有する課題、及び化学原料の不正取引との闘いで得た情報及び教訓を共有する必要性について言及した。また、アジアからの貨物に関する情報交換の重要性を強調した。習主席は、化学原料及び麻薬対策協力に関する墨中ワーキンググループが設立されたことを歓迎した。両者は、地球規模課題について意見交換し、多国間主義、国際法及び国際協力を強化することは国際の平和と安全に対する課題に対処する最良の方法であり、一方的な行動を拒否することに同意した。「ロ」大統領は、習国家主席に今後数ヶ月以内にメキシコを訪問するよう招待した。両首脳は、率直且つ友好的な対話を実施し、二国間、ラ米カリブ諸国共同体（CELAC）と中国間の対話を含む多国間協議の両方で、協力を深化する重要性を再確認した。

（2）墨加首脳会談

16日、「ロ」大統領は、APEC首脳会合において、トルドー加首相と会談した。「ロ」大統領は自身のSNSにおいて、「バイ会談において、我々からは移民問題について取り上げ、また「ト」首相からは、加起業者が引き続きメキシコで投資を行い、雇用を創出することへの自信を表明した。」と報告した。

（3）墨米首脳会談（大統領府プレスリリース）

17日、「ロ」大統領は、APEC首脳会合において、バイデン米大統領と会談した。会談では、両国の友好、敬意、協力関係について話し合われた。「ロ」大統領は、自身のSNSにおいて、メキシコは米国の主要貿易相手国であり、現在4,000万人のメキシコ人が米国で働いていることを強調した。また、移民に関する対応を進めなければならないと述べた。「ロ」大統領は、「バ」大統領は合法的な移住を推進し、壁を作らず、移住が貧困や治安悪化にもとづく強制的な行動ではなく選択的行動のひとつになり得るとした初の米大統領であることに何度も言及した。「ロ」大統領は、人道及び連帯の観点から、フェンタニルを中心とした合成麻薬との闘い及び化学原料の密輸の規制において、引き続き協力していくことを再確認した。「ロ」大統領は、数百万人ものメキシコ人が米国で働き生活しているのと同様に、米国からのメキシコ移住者が増加しており、「彼らを歓迎する」と強調した。

3 バルセナ外相のG20テレビ首脳会議への出席

22日、バルセナ外相は、G20首脳テレビ会議に出席した。持続可能な開発目標、貧

困・不平等との戦いへのコミットに加え、移民問題への取組を強調した。AUのG20正式加盟を歓迎する旨も発言した。